



神経内科からのメッセージ

「目指そう、神経内科！」

21世紀は脳の時代です。私たち神経内科は、「臨床に誠意、研究に創意、教育に熱意」のある医師を目指し、日々大きな学びを得ることに喜びを感じています。

右手に総合診療力、左手に脳神経スペシャリスト。診療の基本となる「病歴聴取、全身および神経診察、鑑別診断と診療方針決定」の流れを徹底的に指導いたします。加えて電気生理検査、脳神経超音波検査、血管造影検査など、脳神経系に必要な手技の取得が可能です。

超高齢化社会を迎える日本では、ケアを中心とした介護と医療のバランスが求められています。他の大学病院では経験できない、急性期疾患から変性疾患、他の領域にまたがる神経疾患（整形外科、脳神経外科、精神神経科、神経眼科、神経耳科、リウマチ膠原病科等）までを幅広く経験することが可能です。さらに内科専攻医プログラム、最後の1年は各自の希望を尊重し「国内最高レベルの臨床系医療施設への研修派遣」を約束します。

再生医療をはじめとする次世代の医療を、研究から臨床のレベルに引き上げるのは、専攻医皆さんの力です。私たち神経内科とともに成長しませんか！

神経内科 診療部長 井口保之